

青森商工会議所 経営発達支援計画

令和 6 年度事業報告書

令和 7 年 5 月

令和 6 年度事業報告書

目 次

1. 地域の経済動向調査に関すること	3 ページ
①経営課題アンケート調査	
②中小企業景況調査	
③LOBO（早期景気観測）調査	
④地域診断サービスによる調査	
2. 需要動向調査に関すること	4 ページ
①自社店舗等での需要動向調査アンケート	
②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査	
3. 経営状況の分析に関すること	5 ページ
①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと経営分析	
②「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析	
③「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起しと経営分析	
④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の掘り起こしと経営分析	
4. 事業計画策定支援に関すること	7 ページ
①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと事業計画策定	
②巡回・窓口相談による事業計画策定	
③創業・第二創業計画策定支援	
④事業承継計画策定支援	
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること	9 ページ

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること・・・・・・・・・・ 10 ページ

- ①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 (B to B)
- ②食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会等への出店支援の実施 (B to C)
- ③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 (B to B)
- ④IT を活用した販路開拓支援の実施 (B to C)

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること・・・・・・・・・・ 13 ページ

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること・・・・・・・・・・ 13 ページ

- ①「経営指導員等情報交換会」の開催
- ②組織内での支援ノウハウの共有

9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること・・・・・・・・ 14 ページ

- ①小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会
- ②その他支援機関との情報交換

10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること・・・・・・・・・・ 15 ページ

- ①「八甲田丸を守る会」への協力
- ②国内外からの誘客推進並びに経済交流推進事業
- ③ヘルスケア・ビジネス創造事業
- ④中心市街地活性化事業
- ⑤株式会社まちづくり青森との連携
- ⑥青森地域7大学等との連携事業
- ⑦まちなかキャンパスの開催
- ⑧人財育成 雪花雪中塾の開講

1. 地域の経済動向調査に関すること

(1) 事業内容

①経営課題アンケート調査

地域の中小企業・小規模事業者が抱える経営上の課題を把握し、当所の今後の経営支援につなげていくため、年間売上及び経常利益の推移状況、直面する経営課題、経営課題に対する対応状況、当所に対する意見・要望等を調査した。

【調査対象】当所会員事業所（議員、部会幹事、小規模企業、特定商工業者等）

【調査項目】売上及び経常利益推移、直面する経営課題、当所に対する意見要望等

【調査手法】調査票を郵送及びFAXし、FAX及びWEBにより回収

【分析手法】経営指導員等が分析し、青森中央学院大学教授、竹内紀人氏から総評をいただいた。

②中小企業景況調査

中小企業の景気動向を総合的に把握することを目的に、中小企業基盤整備機構が四半期毎に実施している中小企業景況調査において、当所対象企業41社による当地区内景気動向を把握した。

【調査対象】管内中小企業・小規模事業者（41社）

【調査項目】売上、資金繰り、仕入、在庫、採算、業況、従業員の状況、設備投資等

【調査手法】調査票を郵送し郵送により回収

【分析手法】当所対象企業の分析は経営指導員等が行い、全体的な分析は中小企業基盤整備機構が行った。

③LOBO（早期景気観測）調査

足元の景況感や直面する経営課題などを調査するため、日本商工会議所が毎月実施しているLOBO調査において、当所対象企業5社による当地区内の景況感、経営課題等を把握した。全体の調査結果は、日本商工会議所ホームページ及び当所会報「かけはし」等で公表した。

【調査対象】管内中小企業・小規模事業者（5社）

【調査項目】景況感、経営課題等

【調査手法】調査票をFAXしFAXにより回収

【分析手法】当所対象企業の分析は経営指導員等が行い、全体的な分析は日本商工会議所が行った。

④地域診断サービスによる調査

日本商工会議所が「RESAS」のデータを基に実施している事業を活用し、地域経済の動向実態を把握し、管内小規模事業者の効果的な経営活動に反映させるため、データに基づいた説得力のある情報提供とその後の事業計画策定に活用した。

【調査項目】人口推移、産業構造、地域経済循環、雇用状況等

【調査手法】国が提供するビックデータである「RESAS」を活用して地域経済の動向を調査

【分析手法】日本商工会議所が「RESAS」のデータを基に実施している事業を活用した。

(2) 成果の活用

上記調査の結果は、広く一般に周知を図るため、当所ホームページで公表するほか、当所の常議員会等各会議での説明や会報「かけはし」でも公表した。また、経営指導員等が巡回指導を行う際の参考資料とした。

【目標と結果】

	項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
目標	①経営課題アンケート調査	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
	②中小企業景況調査 60 社	4 回	4 回	4 回	4 回	4 回
	③LOBO（早期景気観測）調査 5 社	1 2 回	1 2 回	1 2 回	1 2 回	1 2 回
	④地域診断サービスによる調査	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回
結果	①経営課題アンケート調査	1 回	1 回	1 回	1 回	
	②中小企業景況調査 41 社	4 回	4 回	4 回	4 回	
	③LOBO（早期景気観測）調査 5 社	1 2 回	1 2 回	1 2 回	1 2 回	
	④地域診断サービスによる調査	1 回	1 回	1 回	1 回	

2. 需要動向調査に関すること

（1）事業内容

①自社店舗等での需要動向調査アンケート

経営状況分析や事業計画策定支援を行った小売・サービス事業者等を対象に、自社顧客のニーズ把握を目的に自社店頭等で需要動向アンケート調査の作成支援を行った。実施にあたっては、アンケート内容が効果的な項目・構成となるよう、また、効果的な調査時期の選定などについても支援を行った。調査後は、得られたデータから商品・サービスが自社のターゲットやニーズに即しているかを経営指導員が分析し、支援対象事業者にフィードバックした。

【調 査 手 段】店頭等での書面によるアンケート

【分 析 手 段】経営指導員が分析を行い、必要に応じてよろず支援拠点や、専門家派遣事業の販路開拓における専門家の協力を仰いだ。

【調 査 項 目】購入者の属性、購入商品、サービス、商品・サービス単価の高低、サービス・接客満足度、その他のニーズ等

【分析結果の活用】調査結果及び分析結果は経営指導員等が当該事業所に直接説明する形でフィードバックし、今後の事業計画策定に反映させるとともに、商品・サービスの見直し、新たな需要開拓に向けた新商品開発へつなげた。

（実施内容）

青森商工会議所 1 階 AOMORI STARTUP CENTER において創業した事業者や、青森商工会議所会員で新規メニュー開発等を行っている飲食店のニーズ調査・販路拡大等を支援した。また、ポップアップストア（期間限定）として場所を提供し、あわせて事業計画の策定について指導した。

○支援事業者数 2 事業者（株式会社 HAPPY STANDARD（飲食業、タコス販売）、お好み焼きバル TORORO（飲食業、お好み焼き販売））

②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査

本市の地域資源を活用した食品加工業者等 3 社を対象として、購入者属性のほか、各社 1 商品の「サービス」「商品・サービス単価の高低等」について、首都圏消費者に対し、アンケート調査を実施した。

【調査手段】WEBによるアンケート

【分析手段】経営指導員が分析し、必要に応じてよろず支援拠点や、専門家派遣事業の販路開拓における専門家の協力を仰いだ。

【調査項目】購入者の属性、購入商品、サービス、商品・サービス単価の高低、サービス・接客満足度、その他のニーズなど

【分析結果の活用】調査結果及び分析結果は経営指導員等が当該事業所に直接説明する形でフィードバックし、今後の事業計画策定に反映させていくとともに、商品・サービスの見直し、新たな需要開拓に向けた新商品開発へつなげた。

(実施内容)

東京ビッグサイトで開催されたビジネスチャンス EXPO in TOKYO の出展ブースにおいて、展示商品についてアンケートを回収した。その後アンケート結果を事業者へフィードバックし今後の商品開発等へつなげた。

○支援事業者数 3事業者（合同会社フューチャー（食料品製造業）、株式会社北都（食料品製造業）、株式会社プレミアムフーズ青森（飲料品製造業））

【目標と結果】

	項 目	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
目標	①自社店舗等での需要動向調査アンケートの調査対象事業者数	3 社	3 社	5 社	5 社	5 社
	②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査	3 社	3 社	5 社	5 社	5 社
結果	①自社店舗等での需要動向調査アンケートの調査対象事業者数	3 社	3 社	2 社	2 社	
	②首都圏ビジネス交流拠点施設等での消費者ニーズアンケート調査	3 社	3 社	3 社	3 社	

3. 経営状況の分析に関すること

(1) 事業内容

①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと経営分析

経営課題を抱える小規模事業者を対象に、『安全性』、『収益性』、『成長性』などの経営指標や経営方針・今後の事業展開に活用できるセミナーを開催した。セミナー終了後、参加者の中から、意欲的で販路拡大の可能性の高い事業者を選定し経営分析につなげた。

(セミナーの開催内容)

◇経理の基本と実務セミナー

日 程 令和6年6月26日（水）

場 所 青森商工会議所 7階 研修室

講 師 石川税理士事務所 代表 石川 和男 氏

受講者数 46名

◇集客力アップ 企業の魅力を200%伝え 人材の獲得・定着を叶える「選ばれる企業になるための広報・PRセミナー」

日 程 令和6年7月17日（水）

場 所 青森商工会議所 7階 研修室
参 加 者 8名
講 師 株式会社 threejobs 代表取締役 矢間 あや 氏

◇働きやすい職場をつくる「問題社員対策セミナー」

日 程 令和6年9月11日（水）
場 所 青森商工会議所 7階 研修室
講 師 山本社会保険労務士事務所 社会保険労務士 山本 卓哉 氏
受講者数 41名

◇事業計画策定セミナー（経営分析を含む）

日 程 令和6年10月24日（木）
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER
講 師 左近 裕子 氏（株式会社エイチ・エーエル 中小企業診断士）
受講者数 13名 ○経営分析件数 13件

◇DX推進のためのIT活用セミナー

日 程 令和6年11月25日（月）
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER
参 加 者 10名
講 師 奥山 善久 氏（株式会社エイチ・エーエル 中小企業診断士）

②「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析

経営指導員等が経営課題を抱える小規模事業者を訪問する巡回相談や、当所に設置している相談コーナーでの窓口相談で、補助金や各種事業計画の申請に係る経営指導・支援やヒアリングを通じて、経営状況の分析が必要な小規模事業者の掘り起こしと経営分析を行った。

○小規模事業者持続化補助金申請支援時における経営分析件数 5件
○経営革新計画申請支援時における経営分析件数 1件
○経営力向上計画申請支援時における経営分析件数 1件
○先端設備等導入計画申請支援時における経営分析件数 4件

合 計 11件

③「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析

日本政策金融公庫青森支店国民生活事業と共催による「日本公庫1日金融相談会（年2回）」や「定例相談会（月2回）」等を通じて、経営課題を抱える小規模事業者の掘り起こしを行った。また、マル経融資をはじめとした金融支援時に、『収益性』、『安全性』、『成長性』の財務分析を行うことにより経営改善や今後の事業展開のための事業計画策定に活用した。

○マル経推薦時における経営分析件数 47件

④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の掘り起こしと経営分析

当所1階の「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した事業者の経営分析を行い、今後の事

業計画の見直し等へつなげた。

○創業後の経営分析件数（窓口指導） 20件

（２）分析結果の活用

分析結果は、事業者へフィードバックし事業計画の策定等に活用した。また、分析結果はデータベース化し、内部共有することで、経営指導員等のスキルアップに活用した。

【目標と結果】

	項 目	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
目 標	①-1「講習会等の開催」 開催回数	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回
	①-2「講習会等の開催」 分析件数	5 件	5 件	5 件	5 件	5 件
	②「窓口相談」「巡回相談」における分析件数	30 件	30 件	30 件	30 件	30 件
	③「金融相談会・金融支援」における経営分析	100 件	100 件	100 件	100 件	100 件
	④「AOMORI STARTUP CENTER」等 を活用して創業した小規模事業者の経営分析	20 件	20 件	20 件	20 件	20 件
	経営分析件数合計	155 件	155 件	155 件	155 件	155 件
結 果	①-1「講習会等の開催」 開催回数	3 回	3 回	6 回	5 回	
	①-2「講習会等の開催」 分析件数	9 件	8 件	19 件	13 件	
	②「窓口相談」「巡回相談」における分析件数	57 件	62 件	50 件	11 件	
	③「金融相談会・金融支援」における経営分析	65 件	41 件	49 件	47 件	
	④「AOMORI STARTUP CENTER」等 を活用して創業した小規模事業者の経営分析	1 件	2 件	4 件	20 件	
	経営分析件数合計	132 件	113 件	122 件	91 件	

4. 事業計画策定支援に関すること

（１）事業内容

①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと事業計画策定

上述の経営分析を行った事業者等を対象に「事業計画策定セミナー」を開催した。セミナー終了後、参加者の中から、意欲的で販路拡大の可能性の高い事業者を選定し事業計画の策定支援を行った。

（セミナーの開催内容）

◇事業計画策定セミナー（経営分析を含む）

日 程 セミナー 令和6年10月24日（木）

個別相談会 令和6年10月25日（金）

場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER

講 師 左近 裕子 氏（株式会社エイチ・エーエル 中小企業診断士）

受講者数 13名 ○事業計画策定支援件数 13件

◇あおスタ起業塾の実施

起業関心層の掘り起こしと起業家コミュニティ形成を目的に、ワークショップを取り入れた全12回の実践型シリーズ講義を青森市と連携して実施し、ビジネスアイデアのブラッシュアップや事業計画の策定支援を行った。

〈あおスタ起業塾 2024summer〉

日 程 令和6年7月12日（金） 交流会

令和6年7月13日（土）～9月21日（土） 隔週土曜日

場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER

講 師 AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 植松 宏真 氏

AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 三上 恭子 氏

PEACH BOXING CLUB 代表 工藤 猛生 氏

株式会社 KOMORU 代表取締役社長 香田 遼平 氏

株式会社ビーコース 広報／営業担当 三部 暖 氏

株式会社リクルート ブランドマネージャー 野村 恭子 氏

Knot 法律事務所 代表弁護士 長谷川 剛 氏

受講者数 18名

〈あおスタ起業塾 2025winter〉

日 程 令和7年1月10日（金） 交流会

令和7年1月11日（土）～3月22日（土） 隔週土曜日

場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER

講 師 AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 植松 宏真 氏

AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 三上 恭子 氏

AOMORI STARTUP CENTER コーディネーター 浅野 麻里 氏

八戸ゲストハウス トセノイエ オーナー 鈴木 美朝 氏

Amu 株式会社 代表取締役 CEO 加藤 広大 氏

PointFive 株式会社 代表取締役 場づくりコーディネーター 野田 賀一 氏

株式会社 NextNatural 代表取締役 対馬 慎太郎 氏

グルメインフルエンサー たっくん 氏

受講者数 22名

②巡回・窓口相談による事業計画策定

経営指導員等が経営課題を抱える小規模事業者を訪問する巡回相談や当所に設置している相談コーナーでの窓口相談で、補助金の申請相談や金融相談等を行った事業者を対象に事業計画の策定支援を行った。

○小規模事業者持続化補助金申請支援時における事業計画策定支援件数 5件

○経営革新計画申請支援時における事業計画策定支援件数 1件

○経営力向上計画申請支援時における事業計画策定支援件数 1件

○先端設備等導入計画申請支援時における事業計画策定支援件数 4件

○金融相談の対象者に対する事業計画策定支援件数

5件

合 計

16件

③創業・第二創業計画策定支援

青森市と締結した「スタートアップの推進に関する連携協定」に基づき、当所1階に整備した「AOMORI STARTUP CENTER」において、青森市の起業・創業の専門家が中心となり、創業計画の策定支援を行った。

○創業計画策定支援件数 76件

④事業承継計画策定支援

前述の経営分析や当所の経営課題アンケート調査において事業承継に課題を抱えると回答した事業者を対象に、当所経営指導員等が事業承継計画を策定した。高度、専門的課題には青森県事業承継・引き継ぎ支援センター(21 あおもり産業総合支援センター)等と連携し対応した。

○事業承継計画策定件数 3件(支援件数 133件)

【目標と結果】

	支援内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①-1「講習会等の開催」 ・開催件数	2回	2回	2回	2回	2回
	①-2「講習会等の開催」 ・セミナー参加者への事業計画策定件数	5件	5件	5件	5件	5件
	②巡回・窓口相談による事業計画策定件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者を対象とする事業計画策定件数	20件 15件	20件 15件	20件 15件	20件 15件	20件 15件
	③創業・第二創業計画策定件数	26件	28件	30件	32件	34件
	④事業承継計画策定件数	3件	3件	3件	3件	3件
	事業計画策定件数	69件	71件	73件	75件	77件
結果	①-1「講習会等の開催」 ・開催件数	2回	4回	3回	3回	
	①-2「講習会等の開催」 ・セミナー参加者への事業計画策定件数	5件	3件	19件	13件	
	②巡回・窓口相談による事業計画策定件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者を対象とする事業計画策定件数	52件 2件	62件 2件	50件 6件	11件 5件	
	③創業・第二創業計画策定件数	10件	101件	82件	76件	
	④事業承継計画策定件数	3件	0件	3件	3件	
	事業計画策定件数	72件	168件	160件	108件	

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

(1) 事業内容

これまで事業計画を策定した事業者のうち、セミナー参加事業者、各種補助金申請者、金融相談者、創業・第二創業者、事業承継計画策定者のフォローアップを行った。ただし、事業者からの申し出等により、臨機応変に対応した。

なお、進捗状況が思わしくなく、事業計画との間にズレが生じている場合には、エキスパートバンク、中小企業119や外部専門家等の第三者の視点を投入し、当該ズレの発生要因及び今後の対応策を検討の上、フォローアップ頻度の変更等を行った。

【目標と結果】

	支援内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①フォローアップ対象事業者数 ・当該年度に計画策定した者	69者	71者	73者	75者	77者

	・前年度に計画策定した者	—	69者	71者	73者	75者
	②フォローアップ件数					
	○当該年度に計画策定した者を対象とする件数					
	・セミナー参加者へのフォローアップ件数	10件	10件	10件	10件	10件
	・各種補助金申請者を対象とする件数	40件	40件	40件	40件	40件
	・金融相談者へのフォローアップ件数	15件	15件	15件	15件	15件
	・創業・第二創業計画策定者へのフォローアップ件数	26件	28件	30件	32件	34件
	・事業承継計画策定者へのフォローアップ件数	3件	3件	3件	3件	3件
	○前年度に事業計画を策定した者を対象とする件数 頻度（延件数）	—	69件	71件	73件	75件
	小 計	94件	165件	169件	173件	177件
	売上増加事業者数	30者	30者	30者	30者	30者
	利益率3%以上増加の事業者数	30者	30者	30者	30者	30者
結果	①フォローアップ対象事業者数					
	・当該年度に計画策定した者	72者	143者	161者	108者	
	・前年度に計画策定した者	—	72者	143者	161者	
	②フォローアップ件数					
	○当該年度に計画策定した者を対象とする件数					
	・セミナー参加者へのフォローアップ件数	5件	8件	19件	13件	
	・各種補助金申請者を対象とする件数	52件	62件	51件	11件	
	・金融相談者へのフォローアップ件数	2件	2件	6件	5件	
	・創業・第二創業計画策定者へのフォローアップ件数	19件	3件	82件	76件	
	・事業承継計画策定者へのフォローアップ件数	3件	0件	3件	3件	
	○前年度に事業計画を策定した者を対象とする件数 頻度（延件数）	—	72件	143件	161件	
	小 計	81件	147件	304件	269件	
	売上増加事業者数 ※令和7年5月15日現在	15者	26者	30者	28者	
	売上総利益率3%以上増加の事業者数 ※令和7年5月15日現在	15者	27者	31者	9者	

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

(1) 事業内容

①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展（B to B）

「りんご」や「カシス」などの地域資源などを取り扱う小規模事業者を対象に、域外への販路開拓のための各商談会、展示会への参加支援を行った。出展にあたり、FCP シートの作成や商談後の商品のブラッシュアップなどのフォローを行った。

(実施内容)

◇伊達な商談会（「JR 東日本東北総合サービス株式会社」との個別商談会）

日 程 令和6年9月13日（金）

場 所 仙台商工会議所

内 容 JR 東日本東北総合サービスが管轄している駅構内の販売所や道の駅、スーパーなどにおいて、自社製品の取扱いなどを交渉する商談会

参加者数 1 事業者 ○商談成立件数 1 件

◇OSAKA ビジネスフェア 2024

日 程 令和6年11月22日（金）

場 所 マイドームおおさか

内 容 優れた技術や魅力ある商品・サービス等を有し、前向きにチャレンジしている事業者に対して、自社をPRする機会と出展者間における情報交換の場等

を提供する商談会

参加者数 1 事業者 ○商談成立件数 1 件

◇ビジネスチャンス EXPO in TOKYO

日 程 令和 6 年 1 2 月 4 日（水）・ 5 日（木）

場 所 東京ビッグサイト

内 容 独自の技術や珍しい商材を持つ都内企業が一堂に会し、その製品やサービスを来場者に P R することで、新たな販路の開拓につなげることを目的とした総合展示会

参加者数 3 事業者 ○商談成立件数 0 件（商談継続中）

◇にっぽんの宝物 JAPAN グランプリ

日 程 令和 7 年 2 月 2 6 日（水）・ 2 7 日（木）

場 所 日本橋三井ホール、BASE Q、LODGE

内 容 地方の原石を全国・世界レベルのヒット商品へ育てることを目指した大会

参加者数 5 事業者 ○商談成立件数 0 件（商談継続中）

◇青函商工会議所パートナーシップ支援事業

日 程 令和 7 年 3 月 4 日（火） 14:30～18:00

場 所 プレミアホテル-CABIN PRESIDENT-函館

内 容 青森・函館商工会議所管内事業所同士による販路開拓や技術提携、新規ビジネス創出

参加者数 1 2 事業者 ○商談成立件数 1 件

②食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会等への出店支援の実施（B to C）

経営状況分析や事業計画策定支援を行った小規模事業者（菓子製造小売店や食品加工事業者）の新規顧客獲得を目的に、展示販売会等への出店を支援した。出店にあたり、自社の認知度向上や商品の PR 方法について事前に専門家による指導を受けたほか、必要があればその後の商品のブラッシュアップ等のフォローを行った。

【支 援 対 象】菓子製造小売業や食品加工事業等を営む小規模事業者

【支援の手段・方法】自社の認知度向上や商品の PR 方法について事前に専門家による指導を受け、AOMORI STARTUP CENTER 内で商品を販売した。

（実施内容）

◇AOMORI STARTUP CENTER を利用して創業した事業者や、青森商工会議所会員で新規店舗や新規メニュー開発を行っている飲食店の販路拡大を支援するため、期間限定での出店が可能なポップアップショップの貸出を行う事業を実施した。

支援内容 ポップアップショップの貸出、メニューチラシ、店舗紹介チラシの作成支援作成したチラシを青森市役所駅前庁舎、青森商工会議所会館等へ配布。

AOMORI STARTUP CENTER の SNS 等で公開。

事業者数 2 社（株式会社 HAPPY STANDARD（飲食業、タコス販売）、お好み焼きバル TORORO（飲食業、お好み焼き販売））

開催期間 令和 6 年 7 月、9 月 延べ 2 4 回

販売累計額 6 8 6, 3 1 0 円 ○売上平均額 3 4 3, 1 5 5 円／社

③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓（B to B）

これまで実施してきた青森商工会議所・函館商工会議所の会員事業所によるビジネスマッチング事業の実施が、新型コロナウイルス感染症の影響により難しくなったことから、Zoom 等を活用したオンライン上でのビジネスマッチング事業を令和3年度より実施しており、令和6年度においても継続した販路開拓支援を行った。

（実施内容）

◇地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル構築事業

日 程 令和6年4月～令和7年3月
場 所 オンライン
内 容 Zoom 等ビデオ会議サービスを活用したオンライン上でのビジネスマッチング。
参加者数 9事業者（株式会社エイ・ワンド、小田桐錦石研究所、コノハト株式会社、株式会社三光物産、とうふ工房、株式会社はとや製菓、合同会社青森ふあいん、テキスタイルスタジオ村上、有限会社ヤカタイーティング）
〇商談成立件数0件

④ITを活用した販路開拓支援の実施（B to C）

小規模事業者の中には、自社のWEBサイトの作成やSNSを通じた顧客との関係の構築、EC展開などに関心があるもののいまだに整備の進んでいない事業者も少なくない。そこで、ITを活用した販路開拓の手法や、EC展開を支援するセミナーを開催し販路開拓を支援した。また、セミナー終了後には、個別相談や巡回によりフォローアップを図った。

（実施内容）

◇DX推進のためのIT活用セミナー

日 程 令和6年11月25日（月）
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER
講 師 奥山 善久 氏（株式会社エイチ・エーエル 中小企業診断士）
受講者数 10名

【目標と結果】

	項 目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 ・出展者数 ・成約件数	3社 1件	3社 1件	5社 1件	5社 1件	5社 1件
	②食品を販売する事業者等を対象とした催事及び展示販売会への出展 ・出展者数 ・売上額/社	3社 5万円	3社 5万円	5社 5万円	5社 5万円	5社 5万円
	③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 ・出展者数 ・成約件数	10社 2件	10社 2件	10社 2件	10社 2件	10社 2件
	④ITを活用した販路開拓支援の実施 ・支援事業者数 ・売上高5%以上増加の事業者数	3社 3社	3社 3社	5社 5社	5社 5社	5社 5社
結果	①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 ・出展者数	4社	8社	27社	22社	

	・成約件数	0 件	0 件	3 件	3 件	
	②食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会等への出店					
	・出展者数	3 社	7 社	2 社	2 社	
	・売上額／社	1 1 万円	3 1 万円	2 7 万円	3 4 万円	
	③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓					
	・出展者数	1 0 社	1 0 社	1 0 社	9 社	
	・成約件数	0 件	2 件	0 件	0 件	
	④ITを活用した販路開拓支援の実施					
	・支援事業者数	5 社	3 社	3 社	3 社	
	・売上高 5 %以上増加の事業者数	3 社	1 社	1 社	1 社	

経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

(1) 事業内容

毎年度、本計画に記載の事業の実施状況及び成果について、以下の方法により評価・検証を行うとともに、事業の見直しについては委員会内で検討し必要があれば事業内容を変更する。

【構成メンバー】青森市担当課長、税理士、中小企業診断士、当所専務理事

【開催頻度】1回／年

【評価・検証方法】・青森市、税理士、中小企業診断士等の外部有識者により事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行う

・事業の成果・評価・見直しの結果については正副会頭に報告し、承認を受ける

・事業の成果・評価・見直しの結果を当所のホームページで計画期間中公表する

○令和7年5月26日（月）開催

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

事業内容

①「経営指導員等情報交換会」の開催

経営指導員等の支援ノウハウや小規模事業者の景気、需要、金融動向等の情報を交換する「経営指導員等情報交換会」を毎月開催した。開催にあたっては、これまで対象だった若手経営指導員に補助員や一般職員も加えた。

◇経営指導員等情報交換会 20回開催（マル経事前の回数）

金融担当課以外の経営指導員に加え今後経営指導を行う補助員や一般職員も交え、マル経審査会への推薦案件の融資のポイントや今後の経営支援の方策等について情報共有を図った。

②組織内での支援ノウハウの共有

経営支援システムである「Biz ミル」等を活用することにより、個人に帰属することが多い支援ノウハウを蓄積し、組織内で共有することにより当所の支援能力の底上げを図った。

◇職員会議での各種補助金等の周知

毎月１回開催される職員会議において、補助金等の概要説明を行い、経営指導員を含む職員に情報共有した。

9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

事業内容

①小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会（２回/年）

日本政策金融公庫青森支店と管内商工会議所が連携して、年２回の小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会を開催した。ここでは、管内経済動向や小規模事業者に対する金融、創業、経営支援の現状、課題、今後の取組みについての情報交換を行うことにより当地域における小規模事業者への支援及び地域振興に向けた支援力向上を図った。また、日本政策金融公庫青森支店担当者による毎月２回の金融相談窓口等により、金融専門家による融資手法等の支援ノウハウの習得を図った。

◇小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会 ２回開催

第１回

日 程 令和６年７月１１日（木）

場 所 グリーンホテル（むつ市）

第２回

日 程 令和６年１２月１２日（木）

場 所 青森商工会議所 ７階 会議室

◇金融相談窓口での対応

開催数 １８回（４/１９（金）、５/１６（木）、６/７（金）、７/４（木）、７/１８（木）、８/１（木）、
８/２２（木）、８/２３（金）、９/５（木）、９/１９（木）、１０/３（木）、１０/１７（木）、
１２/５（木）、１２/１９（木）、１/２３（木）、２/６（木）、３/６（木）、３/２１（木））

相談者数 ３３名

②その他支援機関との情報交換

青森県信用保証協会の「青森県中小企業支援ネットワーク会議（１回/年）」、青森県の「地域金融推進ワーキンググループ（３回/年）」等において、地元金融機関、他支援機関等による支援ノウハウ、支援の現状、支援の課題等についての情報交換やよろず支援拠点の専門家との連携により、専門家による企業支援のノウハウ等の習得により支援力向上を図った。

◇令和６年度 青森県中小企業支援ネットワーク会議

日 程 令和６年１０月２５日（金）

場 所 アップルパレス青森

◇令和６年度 第１回地域金融推進ワーキンググループ

日 程 令和６年６月２４日（月）

場 所 青森県庁

◇令和６年度 第２回地域金融推進ワーキンググループ

日 時 令和６年８月２６日（月）

場 所 青森県庁

◇令和6年度 第3回地域金融推進ワーキンググループ

日 時 令和7年1月28日(火)

場 所 青森県庁

◇保証協会との情報交換会 随時開催

10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること

(1) 事業内容

①「八甲田丸を守る会」への協力

80年にわたる青函連絡船就航の歴史と青森市発展の歴史を後世に語り継ぐために、市民の貴重な共有財産である八甲田丸を有効活用し、人々の賑わいの場となる事業を実施した。

(実施内容)

◇八甲田丸就航60周年記念 みなとまち・あおもり誕生400年記念講演会・記念フォーラム・祝賀パーティ

日 時 令和6年10月6日(日) 14:30

場 所 八甲田丸 車両甲板・多目的ホール

内 容 記念講演会「青森の港と鉄道・青函連絡船」

鉄道博物館 館長 大場 喜幸 氏

〃 学芸員 香月 良太 氏

◇みなとまち・あおもり誕生400年実行委員会への協力

②国内外からの誘客推進並びに経済交流推進事業

コロナ禍後の観光客受入態勢を早急に整備し、定期航空路線を活用した国内旅行の促進や、関係行政・団体で構成するミッション団による経済界や企業に対して本県の地理的優位性を活かしたセールスとMICE誘致等に有効な情報提供を行い、交流人口の拡大、外貨を獲得するとともに、定期航空路線が開設されている韓国、中国、台湾及び、クルーズ船の寄港で訪れる多くの外国人観光客の受け入れ態勢整備へ向けた取り組みを行った。

(実施内容)

青森空港利用促進(青森空港国際化促進協議会への支援)

◇会議の開催

・定例総会

日 時 令和6年5月28日(火)

場 所 リンクステーションホール青森 4階 中会議室

議 案 ①令和5年度事業報告書並びに収支決算書の承認について

②令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の承認について

③任期満了に伴う役員改選について

・事務局会議

日 時 令和6年5月13日(月) 13:00

場 所 青森商工会議所 5階 ミーティングルーム1

案 件 ①令和6年度青森空港国際化促進協議会定例総会付議案件について

日 時 令和6年11月1日（金）

場 所 書面開催

案 件 ①令和6年度収支予算の補正について

②ソウル線・台北線に係る取組実績及び取組予定について

日 時 令和7年1月20日（月）

場 所 書面開催

案 件 青森空港国際定期便（ソウル線・台北線）3月～5月における定期便利用促進対策について

日 時 令和7年3月14日（金）

場 所 書面開催

案 件 青森空港国際定期便（ソウル線・台北線）6月～9月における定期便利用促進対策について

◇実施事業

- ・ソウル・台北定期便利用促進事業

- 旅行商品の造成

- 定期便利用促進広告の実施（テレビ、ラジオ、新聞、WEB広告等）

- 旅行エージェントに対する広告助成

- ・利用者に対するインセンティブ

- パスポート助成金、早割40日前助成金、アンダー30助成金、グループ旅行助成金、人材育成助成金

- ・国際定期便機運醸成・再開等記念事業

- 青森・台北線運航再開記念セレモニー

- 日 時 令和6年10月29日（金） 15：00

- 場 所 青森空港1階国際線チェックインカウンター前

- ・国際定期便運航再開等支援事業

- 国際定期便・チャーター便運航経費の助成、国際定期便・チャーター便運航に要する保安検査員諸経費の助成、㈱大韓航空が負担する青森空港事務所賃借料の助成、国際定期便前ねぶたの運行PR

- ・各種イベント参画・協賛

- 青森空港 空の日記念事業実行委員会、「話してみよう韓国語青森大会」、2024あおもりレディスオープンゴルフトーナメント

③ヘルスケア・ビジネス創造事業

地域観光事業者や地元大学と連携し、観光商品化の推進と県内企業の健康経営に資する福利厚生

プログラムを展開した。

(実施内容)

◇会 議

クア(健康)ガイド協会総会

日 時 令和6年5月10日(金) 11:00

場 所 青森商工会議所 5階 ミーティングルーム1

◇一般参加者を対象とするドイツ式健康ウォーキング

日 時 令和6年5月18日(土) 9:00~14:00

場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)

参 加 者 26名

日 時 令和6年6月15日(土) 9:00~14:00

場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)

参 加 者 24名

日 時 令和6年10月19日(土) 9:00~14:00

場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)

参 加 者 24名

④中心市街地活性化事業

少子高齢化、消費生活等の状況変化に対応して、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を一体的に推進するため、中心市街地活性化協議会(事務局:青森商工会議所)及び四者連携(JR 東日本、青森県、青森市、青森商工会議所)等の取組により、中心市街地の活性化と回遊性向上を、民間主導の再開発事業や青森駅を中心とした一体的整備事業、広域的なソフト事業等を促進させることで市民はもとより来街者の流入を加速させる魅力あるまちづくりを進めた。

(実施内容)

中心市街地における、市街地整備事業(再開発事業等)の具現化を推進するために、当該地区権利者等によって検討されている活性化プロジェクトの実現に向けた取り組みについて支援した。

◇青森市中心市街地活性化協議会

・会議開催状況

通常総会 令和6年9月18日(水)

場 所 青森商工会議所 7階 会議室

出 席 者 28名

議 案 令和5年度事業報告並びに収支決算について

令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

説 明 「まちづくりに関する施策とまちなか開発事例」

国土交通省 東北地方整備局 建政部 勝長 周悟 氏

◇「商業活性化」推進事業

流動人口増加並びに街区内での回遊性を向上させるためのソフト事業を実施した。

◇まちなかレンタサイクル事業

実施期間 令和6年4月25日(木)～令和6年10月31日(木)
貸出場所・台数 青森駅前自転車等駐車場(指定管理者：青森アドセック㈱) 25台
ホテル青森 8台
アートホテル青森 3台
青森県営駐車場(指定管理者：(株)ブルーマウステクノロジー) 3台
貸出実績 計2,128台(令和5年度対比202台増)

◇まちなかサポーターズ事業(しかへらあ～s)

実施期間 令和6年4月～令和7年3月
構成員 青森公立大学学生 計66名
活動内容 来街者に対する挨拶・清掃活動

◇歩行者通行量調査等の実施

春季調査：令和6年 6月28日(金) 7:00～19:00
29日(土) 9:00～19:00 全41地点
秋季調査：令和6年10月25日(金) 7:00～19:00
26日(土) 9:00～19:00 全21地点

※通勤者の計測を目的に、平日の調査時間を7:00から実施した。

⑤株式会社まちづくり青森との連携

中心市街地の賑わい創出を目的に、当所の出資により設立した「株式会社まちづくり青森」は、中心市街地への出店を目指す新規起業者のチャレンジショップである「パサージュ広場」の運営を担い、当所1階の「AOMORI STARTUP CENTER」と連携し、チャレンジショップで新たに起業する事業者の伴走型支援を行った。

(実施内容)

◇株式会社まちづくり青森への事業協力

都市の魅力づくりを総合的に推進し、中心市街地の活性化を実現するために株式会社まちづくり青森の運営と、さらなる活用方法の検討を行った。また、パサージュ広場における商業ベンチャー支援事業について、同社と共同で効果的な運営を効果的な運営を行った。

◇商業ベンチャー支援業務の受託について

パサージュ広場の出店者の経営指導並びに施設の運営管理を行う「青森市商業ベンチャー支援事業」について、AOMORI STARTUP CENTERとの連携によって、より専門的な経営指導や独立支援を行う事で、起業家への支援を充実させていくことを目的に、青森市からの業務委託を受託し、事業を実施した。

商業ベンチャー支援業務の受託期間

期 間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

商業ベンチャー支援業務の内容

運営方針の作成

「令和6年度 商業ベンチャー支援業務に係る運営方針」を作成

・出店者の状況について(令和7年3月31日時点)

区画	店舗名
A-1	HAPPY STANDARD
A-2	Wanna eat
A-3	ちょこっと
B-1	空き区画
C-1	お好み焼きバル TORORO
C-2	BEGIN
C-3	ねこ雑貨専門店 ねこオタ
C-4	晩酌 ya Bears Home
D-1	夢ちゃんラーメン

・出店状況の報告

青森市に対し、毎月出店状況について報告を行った。

・パサージュ広場出店者協議会の開催について

出店建物内で営業する出店者で組織する出店者会議を毎月開催し、情報共有や経営支援を行った。

・支援施設の確保

商業ベンチャー支援業務の実施のため、支援施設を確保（賃借）し、管理を行った。

・イルミネーションの設置及び撤去

点灯期間 令和6年12月13日（金）～令和7年2月28日（金）

⑥青森地域7大学等との連携事業

・青森地域産学連携懇談会の開催

当所は、青森地域5大学及び2短期大学（弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森中央学院大学、青森中央短期大学、青森明の星短期大学）と産学連携協定を締結している。

青森地域の大学の「知」を活かし、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的としており、地域産業の振興、地域活性化（中心市街地活性化等）、健康福祉の増進、人材育成に関する連携・協力を円滑に進めるための情報交換・共有の場として懇談会を開催した。（事務局：青森商工会議所）

（事業内容）

◇青森地域産学連携懇談会の開催

・青森地域産学連携懇談会「リアルを教えて！学生×若手先輩社会人のガチンコトーク」

日 時 令和6年12月17日（火） 14：00

場 所 AOMORI STARTUP CENTER

報 告 青森市内大学生・短大生の青森就職・定着に向け、青森市内の大学生・短期大学生が、企業から参加した若手会社員によるスピーチ（職業選択の理由や勤務

内容、余暇の過ごし方等)を拝聴した後、「若者の「地元で働く」選択肢を広げていくためには何が必要か。」をテーマに、学生や企業がそれぞれの立場で求めるものやできうることについて意見交換し、新たなアイデアの創発となることを目的としたワークショップを実施した。

◇青森市産官学連携プラットフォーム事業への協力

・「AOMORI 未来創造ラボ」事業の運営

「AOMORI 未来創造ラボ」トライアルプログラム

企業から2～3か月単位の課題解決型プロジェクトを募集し、青森市産官学連携プラットフォーム加盟各校の学生に公募・マッチングの上、各企業が提供するプロジェクトに学生が企業担当者と協働で取組んだ。

期 間 令和6年10月1日(火)～12月31日(火)

参 加 者 青森市内大学生 全19名

参加企業 公益財団法人青森県観光国際交流機構、青い森鉄道株式会社、株式会社協同、株式会社 JR 東日本青森商業開発、青森商工会議所

・「AOMORI 未来創造ラボ」トライアルプログラム先進事例講演会

日 時 令和6年9月10日(火) 14:00

場 所 AOMORI STARTUP CENTER

参 加 者 青森県内大学関係者、参画企業関係者20名

内 容 「AOMORI 未来創造ラボ」プロジェクトについて

「Mirai プロジェクトやまなし未来計画」が紡ぎだした地域人材定着

講 師 山梨大学地域人材養成センター 特任教授 杉山 歩

・「AOMORI 未来創造ラボ」トライアルプログラム成果発表会

時 期 令和7年2月8日(土) 13:20

参 加 者 青森県内大学関係者等約70名

内 容 「AOMORI 未来創造ラボ」トライアルプログラムでの取組内容について、各チームからの成果発表を行った。なお、成果発表のプレゼンテーションについては、審査員3名による審査を実施し、審査の結果、「青森県観光物産館「アスパム」内のフロア・コーナーの利用促進」を「ベストチャレンジ賞」として表彰した。

⑦まちなかキャンパスの開催

青森地域産学連携懇談会事業として、大学の地域貢献の観点から、中心市街地活性化の一環として、街区内の公共施設等を会場に、各大学がそれぞれ一般・学生を対象とした公開講座「まちなかキャンパス」を開催した。

(実施内容)

◇青森中央学院大学

認定件数 6講座

「青森中央学院大学まちなかキャンパス公開講座2024」

◇青森大学

認定件数 11講座

「青森KEN民塾例会兼櫛引研究室・まちなかゼミ」

「あおもり新幹線研究連絡会・青森学術文化振興財団助成事業報告会」

「青森大学付属総合研究所特別講演」

⑧人財育成 雪花雪中塾の開講

本市の社会的課題の洗い出し、シーズの発掘や実証実験等を通じ、地域課題解決に資する新たなビジネスの創出に向けセミナー、ワークショップ等個者支援事業を行う雪花雪中塾を開講した。

(実施内容)

◇人財育成 雪花雪中塾の開講

参加者 36名

講師 中村 陽一 人財育成雪花雪中塾 塾頭

山崎 宇充 人財育成雪花雪中塾 講師・コーディネーター

- ・第1回 令和6年 5月17日 地域経済を支える仕組み
- ・第2回 令和6年 6月 6日 地域観光の現在地
- ・第3回 令和6年 7月 4日 食の文化を考える視点としての『ガストロノミー』
～その歴史と未来～
- ・第4回 令和6年 8月24日 板柳町フィールドワーク
- ・第5回 令和6年 9月12日 高齢者就業の現状と地域への影響
～生涯現役社会に向けて～
- ・第6回 令和6年10月 3日 青森市地域経済の現状と課題
- ・第7回 令和6年11月 7日 SLOW HOUSE Kesenuma での取組
- ・第8回 令和6年12月 7日 「雪花雪中塾」との関わりと期待
- ・第9回 令和7年 1月 9日 積雪発電 -WHITE ENERGY Project-世界初！
「雪」を再生可能エネルギーとして利用します
- ・第10回 令和7年 2月 9日 -多様な未来を描く-シナリオ思考で挑む地域課題
- ・第11回 令和7年 3月 2日 課題発表「シナリオプランニング思考によって考える青森県の課題」卒塾式

以 上

